

Universal Declaration of Human Rights

1 主 題 人権に関する宣言を読もう

2 主題・教材について

「Universal Declaration of Human Rights（世界人権宣言）」は、第二次世界大戦という大きな過ちへの反省のもと、世界の平和を実現するため、人権および自由を尊重し確保することを目的として、1948年12月10日、国連連合の第3回総会において採択された。「すべての人民とすべての国とが達成すべき共通の基準」を示すものであり、人権獲得の歴史において重要な地位を占めている。

「世界人権宣言」には法的な拘束力はない。したがって、守らなくても罰則があるわけではない。これに対し、詩人の谷川俊太郎さんは、第28条を「この宣言が口先だけで終わらないような世界をつくろうとする権利もまた、わたしたちのもです。」と訳している。すなわち、「人は誰でも人間らしく生きる権利を持っている。」という理念を、理想のままに終わらせないためには、一人一人が「世界人権宣言」を自身の宣言とすることが求められるということを訴えている。

この教材では、「世界人権宣言」の第1条を読み、「すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である」こととともに、「人間は、理性と良心とを授けられて」いることの認識を確かなものとして培いたい。さらには、「互いに同胞の精神をもって行動」する態度を養いたい。また、英語で書かれた「世界人権宣言」を読み解くことを通し、グローバル社会の一員としての自覚を育てたい。

（関連教科・領域：外国語、特別活動）

3 ねらい ・「世界人権宣言」第1条を自分自身の宣言として読み、そのコンセプトを理解する。

4 展開例

過程	主な学習活動	指導上の留意点	備考
導入	教材を開いた瞬間の印象を話し合おう。		DVD
	- 一斉にページを開き、1分間じっと見つめる。 - 一人ずつ印象を発表する。	- 全員が一斉に開くことを約束する。 - 教材の拡大映像を投影してもよい。 - 文字の印象だけでなく、背景の写真から受けた印象も出させる。 - グループでの意見交換から全体化を図ってもよい。	
展開	「Universal Declaration of Human Rights」を自分の言葉で翻訳しよう。		英和辞典 国語辞典 画用紙
	- 単語の意味を調べ、自分にとって理解しやすい言葉へと置き換える。 - 自分たちの言葉に翻訳した「Universal Declaration of Human Rights」を画用紙に書いて掲示し、発表する。 - 発表されたものも参考にして、自分で言葉を選び、自分自身の「Universal Declaration of Human Rights」（翻訳）を完成させる。 「Universal Declaration of Human Rights」について考える。 「All human beings (=They) が持っているもの」 「All human beings (=They) が求	- グループで作業する。 - ページを開いたときの印象も大切にさせる。 - グループ全員で読み上げさせる。 - 自分のものであるという自覚がもてるように促す。 「All human beings」には、自分自身も含まれていることに気づかせる。 - Universalは「世界」というよりも、「世界中全ての人に常に当てはまる」	

	められていること」 「All human beings (=They) とは だれのこと」	すなわち「普遍的、共通の」という意 味があることを押さえる。 ・「Universal Declaration of Hu- man Rights」が作成された歴史を 紹介してもよい。	参考
ま と め	・学習をふり返し、気づいたことを発表す る。	・身の周りや国内外の出来事を見つめ させ、様々な人権問題に気づかせた い。	ワークシート

5 発展

- ・人権獲得の歴史について学ぶこともよい。
- ・世界人権宣言の各条文から具体的な人権について知り、それらが守られているかを考える。
(人権学習のアクティビティ等「1 いろいろな権利を絵に描こう」[本書P.105～106])

《参考》

◆世界人権宣言について

近代的な人権宣言は、18世紀末の近代市民革命とともに誕生した。アメリカ独立宣言（1776年）やフランスの「人および市民の権利宣言（いわゆるフランス人権宣言）」（1789年）はその代表例である。それらの影響を受けて、19世紀から20世紀前半にかけてヨーロッパやアメリカで人権宣言を含む憲法がつくられた。しかし、こうした宣言は、女性や多くのマイノリティの人々などを除外しており、一握りの人々の権利を保障するものに過ぎなかった。

20世紀に入っても、人権は踏みにじられ、多くの人々が命を奪われた。20世紀半ばになり、植民地の人々が、人間の平等と自己決定権を主張して、外国の権力からの独立を求めたばかりに始まった。また、第二次世界大戦においてナチスドイツが600万人以上ものユダヤ人やロマの人々などを虐殺したことは世界中を恐怖に陥れた。これらのことが、世界の人々の人権意識を高め、国際的な平和を築き、政府による権力の濫用から人々を守るために人権の基準を設けるべきだという声が世界中から上がり、これが1945年の国際連合設立に大きな役割を果たした。各国の代表者たちは、人権侵害を各国の国内問題として放置することが虐殺や戦争につながったことを認めた。そして、世界の平和を実現するためには、世界各国が協力して人権を守る努力をしなければならないということが、世界人権宣言によって明らかにされ、すべての人類がもつ人権を初めて明文化した。

しかし、世界人権宣言には法的な拘束力はなく、守らなくても罰則があるわけではない。そこでその後、国際的なルールによって世界人権宣言の理想を現実のものにしようと、多くの人権条約が生み出された。国際人権規約をはじめとするこれらの人権条約は、人権侵害を受けてきた人々の権利を守るため、性別や肌の色による差別や拷問・虐待などの、具体的な人権侵害を禁止している。条約の締約国は、これらを守らなければならない。

◆主な人権条約と締約国

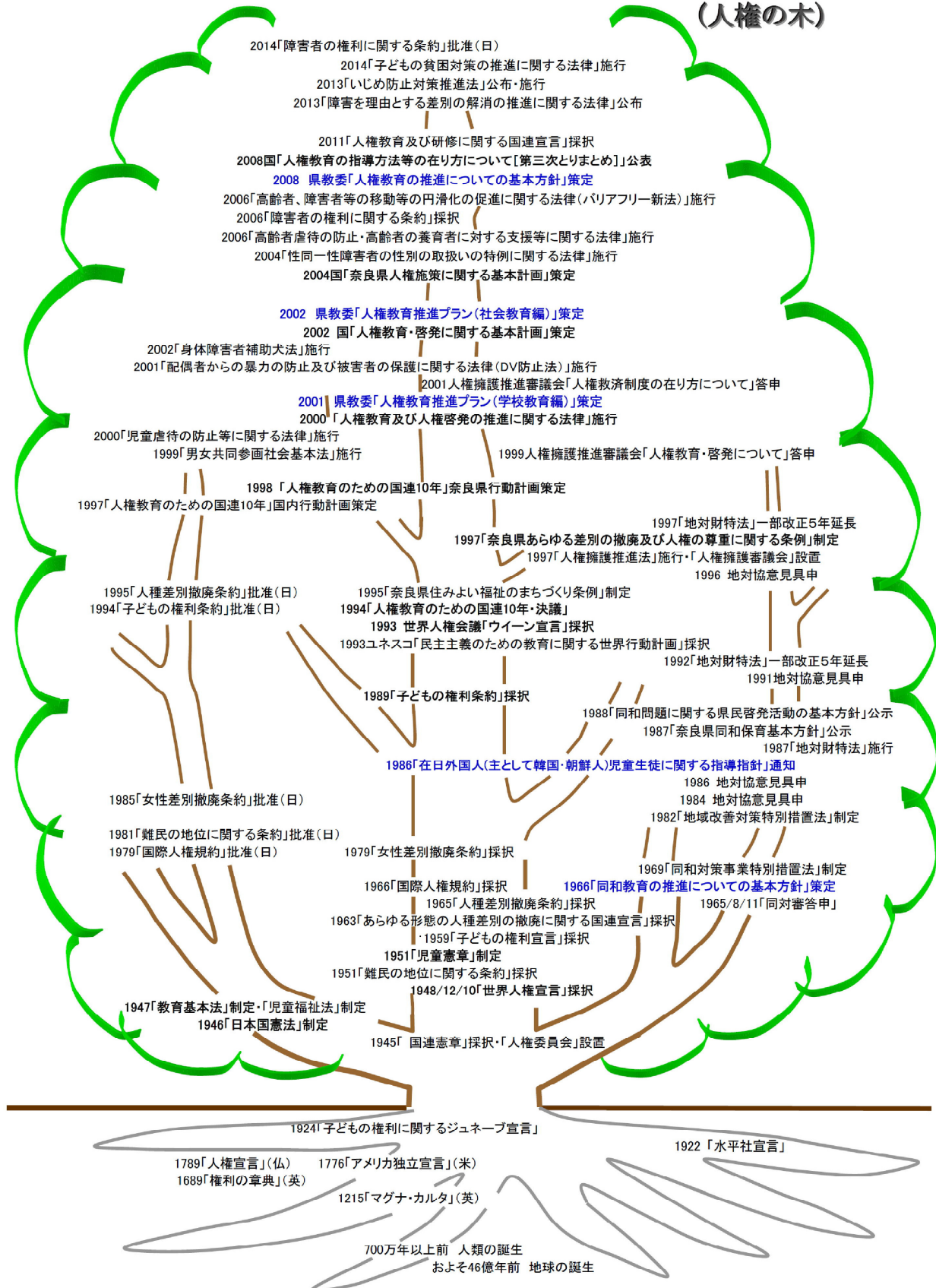
採択年	名 称 （略名）	日本の締結年	締約国数（確認年月）
1951年	難民条約	1981年	145 (2004. 2)
1965年	人種差別撤廃条約	1995年	173 (2009. 5)
1966年	国際人権規約（社会権規約、A規約）	1979年	160 (2013. 4)
1966年	国際人権規約（自由権規約、B規約）	1979年	160 (2013. 4)
1979年	女性差別撤廃条約	1985年	187 (2013. 6)
1984年	拷問等禁止条約	1999年	147 (2010.12)
1989年	子どもの権利条約	1994年	194 (2014.12)
1989年	死刑廃止条約	未批准	72 (2009.12)
1990年	移住労働者の権利条約	未批准	47 (2014.12)
2006年	障害者権利条約	2014年	151 (2014.10)
2006年	強制失踪者保護条約	2009年	43 (2014. 8)

◆「世界人権デー」

1950年の第5回国連総会において、毎年12月10日を「人権デー」として、世界中で記念行事を行うことが決議された。

THE TREE OF HUMAN RIGHTS

(人権の木)



Universal Declaration of Human Rights

自分自身の^{ほん}翻訳を作しましょう！

All human beings are born free and equal in dignity and rights.

They are endowed with reason and conscience and should act towards one another in a spirit of brotherhood.

考えましょう！

All human beings (=They) が持っているものとは何でしょう？

All human beings (=They) が求められていることとはどんなことでしょうか？

All human beings (=They) とはだれのことでしょうか？

ふり返りましょう！

name _____